

## 2018 年度後期 外部講師講演会

演題：名詞句内削除現象から見た人間言語の文法システムの普遍性と変異

講師：明治学院大学教授 平岩 健 (Ph.D. in Linguistics, MIT)

日時：2018年10月13日(土) 13:10~14:40

場所：8号館 2S36 教室

問合せ：[genkomi@swu.ac.jp](mailto:genkomi@swu.ac.jp)

事前予約不要・参加費無料

### 📌概要：

生成文法理論に基づく言語の科学的研究ではヒトに備わる言語能力の解明を目的とし、個別言語のデータから言語能力に内在する普遍性とそれが許容する限られた変異を明らかにする研究です。今回は英語の John's book→John's という名詞句内削除現象と日本語と琉球語（那覇方言）の名詞句内削除現象との比較対照研究をケーススタディとして、一見して同じように見える言語現象でもその背後のメカニズムが一つとは限らないこと、また英語と琉球語（那覇方言）の名詞句内削除現象が共通メカニズムに基づいている一方で、日本語の名詞句内削除は同一形態素回避による別のメカニズムに基づいていることを明らかにします。生成文法理論の知識は極力必要としない形でことばの科学の研究の一例を紹介したいと思います。

### 📖主要著書：

Hiraiwa, Ken (in press) Something Invisible in Japanese. *Glossa*.

Hiraiwa, Ken (2017) Internally-Headed Relative Clauses. In *The Blackwell-Wiley Companion to Syntax*, 2nd Edition. Wiley.

Hiraiwa, Ken, et al. (2017) A Comparative Syntax of Internally-Headed Relative Clauses in Gur. *Glossa*. 2910(27).

Hiraiwa, Ken (2017) The Faculty of Language Integrates the Two Core Systems of Number. *Frontier in Psychology*. 8:351.

Hiraiwa (2016) NP-Ellipsis: A Comparative Syntax of Japanese and Okinawan. *Natural Language & Linguistic Theory*. 34(4): 1345-1387.

Hiraiwa, Ken (2014) Constraining Doubling. In *Identity Relation in Grammar*. 225-254.